

# WebSphere® Process Server for Multiplatforms



バージョン 6.0.2

## クイック・スタート・ガイド

このガイドは、WebSphere(R) Process Server のインストールおよび構成を始めるときに参照していただくガイドです。



各国語バージョン: 各国語に翻訳されたクイック・スタート・ガイドを入手するには、クイック・スタート CD にある PDF を印刷してください。

### 製品の概要

IBM(R) WebSphere Process Server は、次世代のビジネス・プロセス統合サーバーであり、実績のあるビジネス・インテグレーション概念、アプリケーション・サーバー・テクノロジー、および最新のオープン・スタンダードを基に進化した製品です。

### 1 ステップ 1: ソフトウェアの入手



製品を Passport Advantage(R) からダウンロードする場合は、以下のダウンロード文書の指示に従ってください。  
<http://www.ibm.com/support/docview.wss?rs=2307&uid=swg24013585>

この製品オファリングの内容は以下のとおりです。

- **クイック・スタート CD**
- WebSphere Process Server 6.0.2 (IBM Message Service Client for .NET 1.2.2、IBM Message Service Client for C/C++ 1.2、IBM Web Services Client for C++ 1.0、および IBM Eclipse Help System 3.1.1 を含む)
- WebSphere Application Server Network Deployment 6.0.2 (IBM HTTP Server 6.0、Web サーバー・プラグイン 6.0、Application Server クライアント 6.0、Application Server Toolkit 6.0、および Edge Components 6.0 を含む)
- DB2(R) Universal Database (TM) Enterprise Server Edition 8.2
- Tivoli(R) Directory Server 5.2
- Tivoli Access Manager Servers 5.1
- WebSphere Partner Gateway Advanced Edition 6.0 (WebSphere MQ 5.3.0.2 を含む)

これらのコンポーネントの一部はオプションであり、使用するかどうかはお客様の使用法や選択する構成に応じて異なります。WebSphere Process Server 製品ライセンスを見直し、製品に含まれるすべてのソフトウェア・コンポーネントの使用制限を理解していることを確認してください。ご使用のプラットフォームに対して提供されるコンポーネントの完全なリストについては、WebSphere Process Server for Multiplatforms バージョン 6.0.2 の資料 (利用方法はステップ 3 参照) の『Packaging for WebSphere Process Server』を参照してください。

### 2 ステップ 2: ハードウェアとシステム構成の評価



システム要件の詳細は、次の文書を参照してください。  
<http://www.ibm.com/support/docview.wss?uid=swg27006205>

### 3 ステップ 3: 文書の入手



インストール手順などの文書一式については、<http://www.ibm.com/software/integration/wps/library/infocenter> にある WebSphere Process Server 資料を参照してください。

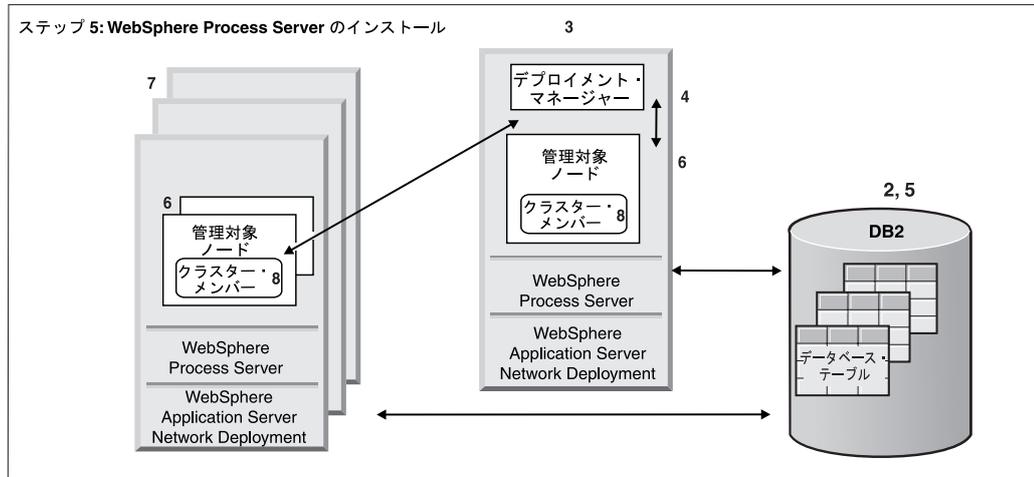
注: 本書の残りの部分で「インフォメーション・センター」と記載されている場合、すべて、WebSphere Business Process Management バージョン 6.0 インフォメーション・センターで提供されている IBM WebSphere Process Server for Multiplatforms バージョン 6.0.2 資料または PDF 形式の同じ資料を指します。どちらもこの URL で入手できます。

## 4 ステップ 4: 基本アーキテクチャーとインストール・ステップの確認



このガイドでは、クラスタリング構成された 2 つ以上のシステムから成るシステム・トポロジーと構成を一例として説明します。これ以外のトポロジーも使用可能です。

注: 必ず WebSphere Process Server 製品ライセンスを見直し、選択したトポロジーをサポートするために十分な数の許可を取得していることを確認してください。



## 5 ステップ 5: WebSphere Process Server のインストール



1. インストールを計画します。インフォメーション・センターの『Planning to install WebSphere Process Server』を参照してください。
2. DB2 などのデータベース製品をインストールします。データベース製品の資料を参照してください。
3. WebSphere Process Server をインストールします。カスタム・インストールを選択し、最後にプロファイル・ウィザードを選択します。インフォメーション・センターの『Installing the software』を参照してください。
4. プロファイル・ウィザードを使用して、デプロイメント・マネージャーを作成します。デプロイメント・マネージャーを始動します。インフォメーション・センターの『Configuring a deployment manager』を参照してください。
5. 追加に必要なデータベース・テーブルがあれば、作成します。インフォメーション・センターの『Database specifications』を参照してください。
6. プロファイル・ウィザードを使用して、計画で必要とする管理対象プロファイルを作成し、作成時にそれらをデプロイメント・マネージャーにフェデレートします。インフォメーション・センターの『Configuring a custom profile (managed node)』を参照してください。
7. その他のシステムを組み込みます。そのためには、各システムごとにステップ 3 およびステップ 6 を実施します (一度に 1 つのシステム)。
8. デプロイメント・ターゲットを作成します。計画で必要とするクラスターおよびアプリケーション・サーバーを作成します。インフォメーション・センターの『Creating a clustered environment』を参照してください。
9. このトポロジーおよびその他のトポロジーについて詳しくは、インフォメーション・センターの『Planning installation topologies』を参照してください。

## その他の情報



その他のテクニカル・リソースについては、以下を参照してください。

- **IBM Education Assistant 情報** (<http://www.ibm.com/software/info/education/assistant>)
- **IBM developerWorks 項目** (<http://www.ibm.com/developerworks/websphere/zones/businessintegration>)
- **WebSphere Application Server Network Deployment バージョン 6.0.x 資料** (<http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/wasinfo/v6r0/> で提供)

